

imageom

イマジオム、ものづくり現場の「ムリ・ムダ・ムラ」を減らすソフトウェア活用支援サービスを本格展開開始

「お手軽度」と「ピッタリ度」の異なる4サービスで幅広いICT導入ニーズに対応、
便利なソフトウェアが手に入る「春の大キャンペーン」も実施中

imageom

お客様のソフトウェアご導入をあらゆる角度からお手伝い

イマジオムの

ソフトウェア活用支援サービス

コンピュータシステム開発の株式会社イマジオム（本社：茨城県日立市、代表取締役：高木太郎）は、ものづくり現場で発生している「ムダ・ムリ・ムラ」を減らすのに、もっとICT（情報通信技術）を活用していただこうと、ソフトウェア活用支援サービスの本格展開を開始いたしました。「お手軽度」と「ピッタリ度」のバランスが異なる四つのサービスを多面的に提供し、幅広いものづくり現場のICT導入ニーズに応えます。

またソフトウェア製品の配布・販売サイト「イマジオム・アウトレット」で、製品や機能のアイデアをお寄せくださった方に、同サイトでお使いいただけるクーポンをさし上げる「春の大キャンペーン」を実施しています。便利なソフトウェアが実質無料で手に入る機会となっております。キャンペーンは2021年5月31日までです。

■イマジオムの事業と、ソフトウェア活用支援サービスの背景

本年の4月に17周年を迎える株式会社イマジオムは、もともと画像処理や図形処理を応用したコンピュータシステムを開発して提供する会社として設立されました。「イマジオム」の会社名も、画像 (image) と図形 (geometry) を組み合わせた造語です。ものづくりに理解の深いコンピュータシステム会社として、主に製造現場での使用を想定した各種のコンピュータシステム製品を企画・開発してきました。特に8年ほど前からは、高性能化と低価格化の進む産業用カメラを応用したシステム製品をいくつも発表し、高い評価をいただいています。

当社は国内のものづくり現場を毎年50ヶ所近く視察する中、多くの現場で利益逸失・過重負担・品質不安定、いわゆる「ムダ・ムリ・ムラ」が恒常的に生じていることを認識しました。またコンピュータシステムを導入することによって解消することのできるムダ・ムリ・ムラが多いこともわかりました。よく「我が国の産業では情報通信技術 (ICT) の活用 (=DX: デジタルトランスフォーメーション) が遅れている」と指摘されるように、ICTの導入が進んでいないものづくり現場はいまだ国内に多く存在しています。当社はその理由を検討し、ものづくり現場でコンピュータシステムを導入するプロセスそのものに、不合理な部分が多く含まれていることに気づきました。そうした不合理をなくし、新しいスタイルのソフトウェア提供サービスを提供する、これが当社の目指すソフトウェア活用支援サービスです。

■ソフトウェア活用支援サービスのメニュー体系

当社のソフトウェア活用支援サービスは、次の四つのサービスによって構成されています。それぞれのサービスの内容については後で個別に紹介します。

番号	サービス	お手軽度	ピッタリ度
1	ソフトウェア製品の配布・販売サイト 「イマジオム・アウトレット」	★★★★★	★
2	オリジナルソフトウェア作成サービス 「おまかせソフト」	★★★★★	★★
3	ソフトウェア発注サポートサービス 「ソフト発注士」	★★	★★★★★
4	ソフトウェア受託作成	★	★★★★★

上記の表に記載の「お手軽度」はソフトウェア導入に要する負担の軽さ、「ピッタリ度」は個別の課題への特化しやすさを表す目安です。「お手軽度」と「ピッタリ度」はトレードオフ (相反) の関係にあり、一般に高い「ピッタリ度」を求めるほど「お手軽度」は低くなります。当社は「お手軽度」と「ピッタリ度」のバランスが異なるサービスを多面的に提供することにより、個々のお客様の事情に合わせたソフトウェア導入を実現しました。4サービスを比較・紹介するソフトウェア活用支援サービスのパンフレットは、下記URLからダウンロードしていただけます。

ソフトウェア活用支援サービス パンフレット

https://www.imageom.co.jp/SUSS/SUSSLeaflet-21.2.15.PDF



図. ソフトウェア活用支援サービスのパンフレット

■ソフトウェア製品の配布・販売サイト「イメージオム・アウトレット」

「イメージオム・アウトレット」は、イメージオムの作成したWindowsパソコン用ソフトウェア製品を配布・販売するインターネットショップです。他社の運営しているソフトウェア配布・販売サイトと異なり、登録されている製品はすべて当社のオリジナルです。そのためすべての製品について、1ヶ月の無料お試し期間、メールによるユーザサポート、セキュリティ保証が提供されており、責任の明確化が必要なビジネスでも安心してご利用いただけます。現状ではパソコンを便利にする20あまりの製品が登録されています。昨年12月のオープンから日が浅いこともあり、登録されている製品の数はまだ多くありませんが、今後増やしてまいります。

「イメージオム・アウトレット」

https://www.imageom-outlet.shop/



図. 「イメージオム・アウトレット」サイト

「イマジオム・アウトレット」では、新しい製品や機能のリクエストも受け付けております。ニーズが多くありそうなリクエストは、当社がソフトウェア製品として作成し、サイトに登録いたします。また5月31日（月）まで実施中の「春の大キャンペーン」期間中には、製品のアイデアやデザインをお寄せくださり、採用させていただいた方にもれなく、サイトでお使いいただけるクーポン（2,000円～5,000円相当）をプレゼントします。便利なソフトウェアが実質無料で手に入るチャンスとなっています。

「イマジオム・アウトレット」春の大キャンペーン
<https://www.imageom-outlet.shop/Campaign.htm>

■オリジナルソフトウェア作成サービス「おまかせソフト」

レストランや食堂の「おまかせメニュー」と同じ感覚でソフトウェア作成を依頼することのできるサービスが「おまかせソフト」です。「どのような課題を解決したいのか」をお知らせいただければ、それをもとに当社でソフトウェアの細かい仕様を決め、当社の自社製品としてお作りします。お客様は、作って欲しいソフトウェア製品を当社に「リクエスト」するだけ。そのためソフトウェアの作成にかかる費用を丸ごと負担したり、ソフトウェアの仕様を細かく検討したりする必要がありません。当社にとっても、与えられた課題を解決することのできる数多くの方法の中から、最もコストがかからず、リスクの少ない方法を選ぶことができ、他のお客様への販売も見込めるというメリットがあります。このようなソフトウェアの提供方式を「シェアウェア方式」と呼んでいます。シェアウェア方式の採用により、「おまかせソフト」を低料金（30万円～）かつ定額制のサービスとして実現することができました。

「おまかせソフト」
<http://www.imageom.co.jp/SUSS/Omakase/>

■ソフトウェア発注サポートサービス「ソフト発注士」

専門知識をもってお客様の法務や税務をサポートする「弁護士」や「税理士」と同じように、ソフトウェア発注業務をサポートするサービスが「ソフト発注士」です。お客様ご自身が行うソフトウェア発注の実務を、当社が総合的にお手伝いいたします。サポートは当社の用意するメーリングリスト（所定のアドレスにメールを送信すると、参加者全員に自動的に配信される仕組み）を使って行います。メールでご相談をお送りいただければ、その都度当社から回答をお返しします。ご相談いただく内容は、ソフトウェア発注の実務に関わるものでしたら何でもかまいません。

「ソフト発注士」
<http://www.imageom.co.jp/SUSS/Hacchushi/>

「ソフト発注士」は期間制のサービスとなっており、たとえば2週間ご利用いただく場合の料金は10万円です。サービス期間中には、ご相談メールを何度でもお送りいただけます。

■ソフトウェア受託作成

お客様に仕様を決めていただく従来の方法で、お客様のニーズに特化した「ピッタリ度」の高いソフトウェアを作成することもできます。機械装置の制御ソフトウェア、パソコンの遠隔利用ソフトウェア、スーパーコンピューティング用ソフトウェア、人工知能応用ソフトウェア、カメラ応用ソフトウェアなどを作成してきた当社のスキルをフルに生かし、ものづくり現場で使いやすいコンピュータシステムをご提案いたします。

■プレスリリースに関するお問い合わせ先

担当者	株式会社イマジオム 代表取締役 高木 太郎 (たかぎ たろう)
電話	0294-28-0147 (代表)
ファクシミリ	0294-28-0148 (代表)
携帯電話	090-8177-5709
電子メール	office@imageom.co.jp (代表)

■ソフトウェア活用支援サービスに関するお問い合わせ先

担当者	株式会社イマジオム ソフトウェアサービス係
電話	0294-28-0147 (代表)
ファクシミリ	0294-28-0148 (代表)
電子メール	office@imageom.co.jp (代表)

■株式会社イマジオムについて

設立	2004年4月
資本金	1,000万円
本社所在地	〒316-0024 茨城県日立市水木町一丁目11番10号
代表取締役	高木 太郎 (たかぎ たろう)
ホームページ	https://www.imageom.co.jp/

ものづくり全般にわたる知識と独創的な技術で、ものづくり現場向けのコンピュータシステム製品を積極的に企画・開発しております。

以上

■従来のソフトウェア発注と「おまかせソフト」の違い

表. 従来のソフトウェア発注と「おまかせソフト」の違い

比較項目	従来のソフトウェア発注	本サービス 「おまかせソフト」
著作権の帰属先	お客様	当社
仕様決め	お客様	当社
検収の必要性	必要	不要
瑕疵担保責任	委託先が担保	なし
お客様による複製・改変	可能	不可
お客様による第三者への販売	可能	不可
当社による複製・改変	不可	可能
当社による第三者への販売	不可	可能
お客様のご負担	作成費用の全部を負担 (通常200万円以上)	作成費用の一部を負担 (数十万円、定額制)

本サービスでは、作成したソフトウェアの著作権をお客様にはお渡しせず、当社に残します。お客様にとっては、ソフトウェアの複製や改変、第三者への販売ができなくなるデメリットが生じますが、詳しい仕様書（どのようなソフトウェアを作るのかを定義する文書）を書いたり、ソフトウェアが仕様書どおりに作られているかどうかを調べたりする手間が不要になります。またソフトウェアの作成費用を第三者への販売で補い、お客様の負担を軽減することができるメリットも生まれます。さらに当社では、瑕疵担保責任による損害賠償を過度に恐れる必要がなくなり、テストを必要最小限にとどめることができます。つまり本サービス（シェアウェア方式）では、お客様と当社の両方にとって、必要ない手間が省け、費用が節約できる仕組みになっています。

■「ソフト発注士」でのご相談内容の例

ご相談の内容は、ソフトウェア発注の実務に関わるものでしたら何でも結構です。たとえば下表のようなご相談を承り、ソフトウェア作成の専門家の視点でご回答をさし上げます。

表. ご相談内容の例

業務・作業フェーズ	ご相談内容（例）
課題の整理	抱えている課題は、ソフトウェアを作成することで解決するか？
概念設計	どのような構成のソフトウェアなら無理なく作ることができるか？
メーカーの選定	どのソフトウェアメーカーに発注するのがよいか？
プロジェクト管理	ソフトウェア作成をどのように進めれば失敗が避けられるか？
作業項目の整理	作業項目のうち、どれをお客様ご自身でこなすべきか？
仕様の策定	ソフトウェアの仕様書をどのように書けばいいか？
仕様書の作成	発注仕様書や検収条件書には何を書けばいいか？
提案の評価	ソフトウェアメーカーからの提案内容や見積もりを承認してよいか？
費用の削減	もう少し費用を抑える方法はないか？
受け入れテスト	受け入れテストはどのように計画すればよいか？
文書管理	今後の運用を考えると、どのような文書を残しておくべきか？

以上